

合意書

〇〇管理組合(以下「管理組合」という。)及び横浜ゴム株式会社(以下「横浜ゴム」という。)は、「〇〇」(以下「本物件」という。)の改修工事に関し、以下の通り合意する。

第1条 (シーリング材の軟化)

管理組合及び横浜ゴムは、横浜ゴムが製造した2成分形ポリサルファイド系シーリング材「SC-M500」が本物件の外壁及び建具廻りに使用されていること、及び本物件に使用されている同製品(以下「本製品」という。)に軟化が生じたこと(以下「本軟化」という。)を相互に確認する。

第2条 (本軟化の改修工事及びその費用)

1. 横浜ゴムは、本製品を改修するための工事(以下「本改修工事」という。)について、通常の改修工事に比べて本製品の撤去手間増分が生じる可能性を考慮し、本改修工事着工に先立ち、管理組合に協力金として××円(税別)を支払う。
2. 管理組合は、横浜ゴムから受領した協力金の利用にあたり、次の各号を遵守するものとし、違反があった場合には、協力金と同額の金員を違約金として横浜ゴムに支払わなければならない。
 - (1) 本改修工事に横浜ゴム製シーリング材をご採用頂くこと
 - (2) 本改修工事を、〇年〇月〇日までに完工して頂くこと
 - (3) 本改修工事完工後速やかに、横浜ゴムから受領した協力金を、シーリング施工者への支払いに充てて頂くこと
3. 管理組合及び横浜ゴムは、本改修工事の実費が、試算した通常の改修工事費用と協力金との合算額に対して増減した場合があっても、その増減額分の増額請求又は減額請求を行なわない。

第3条 (本改修工事に要する費用の支払い)

管理組合は、横浜ゴムに対し、協力金に消費税等を加えた額の請求書を本合意書締結の日から1ヶ月以内に発行し、横浜ゴムは、請求書を受領した月の翌々月末までに、管理組合の指定する次の金融機関の口座に振り込んで支払うものとする。なお、その際の振込手数料は横浜ゴムの負担とする。

〇〇銀行 〇〇支店 普通口座

口座番号_____口座名義_____

第4条 (守秘義務)

管理組合は、第三者に対し、本合意書締結に至るまでの交渉、本合意書に定める内容及び本合意書の存在について開示又は漏洩してはならない。管理組合は、当該事項を第三者に開示又は漏洩した場合、第3条に基づき支払いを受けた金員を、横浜ゴムに返還しなければならない。

第 5 条（清算条項）

管理組合及び横浜ゴムは、本合意書に定める内容をもって、本物件における本製品に関する一切の問題は円満に解決し、本合意書に明示されているものを除き、管理組合及び横浜ゴムの間に何ら債権債務は存在しないことを、相互に確認する。

第 6 条（他の契約との関係）

本合意書は、口頭によるか書面によるかにかかわらず、管理組合及び横浜ゴムの間における本製品に関する全ての合意に優先する。

この合意書の証として、本書 2 通を作成し、管理組合及び横浜ゴムは記名押印の上、それぞれ 1 通を保有する。

2016 年 月 日

管理組合	(住所記入)	
	〇〇管理組合	
	理事長	印

横浜ゴム	東京都港区新橋5丁目36番11号	
	横浜ゴム株式会社	
	ハマタイト・電材事業部	
	Mプロジェクトリーダー	添田 善弘 印